

平成23年度 出資団体監査結果（指摘事項）に基づく措置状況等の報告

- 1 監査の種類 出資団体監査
- 2 監査対象 株式会社ディア四日市
商工農水部商業労働課（出資に関する事務の所管所属）
- 3 監査実施期間 平成24年1月12日
- 4 監査結果報告 平成24年3月30日

監査の結果（指摘事項）

措置（具体的内容）・対応状況

【株式会社ディア四日市】

<p>(1) 小口現金について 日々の支払のために手許に現金を保管しているが、経理規程に小口現金の定めがない。また、手許現金が支払実態を大きく超えていることから、必要額を精査したうえで限度額を規定し、適切な事務処理を行うこと。【是正事項】</p>	<p>【措置済】 平成24年6月29日 「小口現金及び釣り銭用現金取り扱い基準」を制定し、小口現金保有額を15万円以内と明文規定し、保有する現金を改めた。</p>
<p>(2) 金券等の管理について 切手、葉書、収入印紙の取扱いについて、職員が少人数であることから、払出の確認が簡略化されているので、複数の職員で払出の事実を確認するシステムをつくるなど、紛失、事故等の防止を図ること。【是正事項】</p>	<p>【措置済】 平成24年6月29日 切手、葉書、収入印紙の払い出し時には、複数の職員で確認を行うとともに出納簿に記録を残すよう改めた。</p>
<p>(3) 物品管理について 固定資産、貯蔵品、長期使用の消耗品などの棚卸、在庫確認を1人で実施しているので、複数で実施したり、上司による抜き取り検査を実施するなど、内部牽制を働かせるとともに、検査結果を記録として残すこと。【是正事項】</p>	<p>【措置済】 平成24年6月29日 上司による抜き取り実査の徹底を図るとともに抜き取り実査記録も整備するよう改めた。</p>
<p>(4) 交際接待費について 病気見舞、香典、供花料の支出金額の根拠が不明確であるので、交際費支出基準などを明文化すること。【是正事項】</p>	<p>【措置済】 平成24年6月29日 「交際接待費支出に係る取り扱い基準」を策定し、支出根拠を明確化した。</p>

<p>(5) 修繕計画の策定と修繕引当金の計上について 当駐車場を開設して15年が経過しており、施設・設備の維持管理については計画的に行う必要がある。中長期の修繕計画を策定したうえで、修繕引当金を適切に計上するとともに、経理規程を改正すること。 【是正事項】</p>	<p>【 検討中 】 平成24年6月29日 施設の延命化を図る上では計画的修繕は合理的であるので、平成24年度中に中長期の修繕計画を策定する。 一方、修繕引当金については、経理規程と併せて検討していきたい。</p>
	<p>【 検討中 】 平成25年1月11日 経営改善計画の中で、平成24～26年度の具体的修繕及び設備投資計画並びに長期的な修繕及び設備投資計画を策定した。 なお、修繕引当金の計上については公認会計士の意見も踏まえ検討する。</p>

【商業勤労課】

<p>(2) 出資金額について 当法人は、平成18年度の減資の際に持株比率を不変としたため、決算書類で本市の出資金額を3,109万円としている。一方、本市は、当法人の資本金を持株比率(31.1%)によって按分した31,100千円を公有財産として計上している。しかし、持株比率を小数点以下第何位まで計算するかによって出資金額に差が生じることになるので、1株当たりの評価額をいずれの金額とするか明確化し、適正な出資金額を計上すること。【是正事項】</p>	<p>【 検討中 】 平成24年6月29日 (株)ディア四日市への出資金額について、現状を精査し、適正な出資金額に計上するよう改める。</p>
	<p>【 検討中 】 平成25年1月11日 平成24年度の財産調書に計上する価格を、適正な出資金額に改める。</p>

平成23年度 出資団体監査結果（意見）に基づく措置状況等の報告

- | | |
|----------|---|
| 1 監査の種類 | 出資団体監査 |
| 2 監査対象 | 株式会社ディア四日市
商工農水部商業勤労課（出資に関する事務の所管所属） |
| 3 監査実施期間 | 平成24年1月12日 |
| 4 監査結果報告 | 平成24年3月30日 |

監査の結果（意見）

措置（具体的内容）・対応状況

【株式会社ディア四日市】

<p>(1) 経営改善について 中小企業高度化資金の一部償還猶予の期限が到来し、平成24年度から償還が開始されるが、現在の財務状況では大きな負担となる。大幅な収入増が見込めないだけでなく、国道1号線地下駐車場の管理運営の民間事業者への移行、旧ジャスコA館跡地の開発の遅れ、近隣駐車場の低料金化など、事業環境は非常に厳しいものとなっている。さらなる経費削減や駐車料金の見直しなど当駐車場の一層の利用促進に関する具体的な実行計画を策定し、確実な経営改善に取り組むこと。また、街づくり会社本来の事業を展開するとともに、駐車場以外にも積極的な収入財源の確保に向けた経営の抜本的な改善を行うこと。【改善事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成25年1月11日 経費削減や売上拡大に向け、経営支援アドバイザー等より助言を受けるなどして、確実な経営改善に取り組む。また、街づくり会社本来の事業や、駐車場経営以外の収入確保に向けた、取り組みを検討していく。</p>
<p>また、平成22年度3月期現在2億円を超える累積損失についても、具体的な年次計画を策定し、確実な解消を図ること。【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成25年1月11日 平成23年度3月期の累積損失は194百万円と確実に減少している。具体的な年次計画を今年度中に作成し、確実な解消を図りたい。</p>
<p>(2) 単年度黒字決算について 当期における損益状況は、営業収益が157,206千円と前年度に比べ2,120千円(1.4%)の増収となり、経常利益は29,815千円、当期純利益は28,865千円と、単年度では黒字決算となっている。しかし、この背景には、借入金(中小企業高度化資金)が無利子であることや利益配当を行っていないことがある。今後は、より積極的に経営改善を行い、自立経営に向けた努力を行うこと。【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成25年1月11日 当面は高度化資金の償還を最優先とし、資金的な余裕が生じたときには街づくり会社本来の業務である中心市街地活性化に向けた投資と併せて利益配当も実施するなど自立した経営に向けて努力していく。</p>

<p>(3) 利用者の拡充について 当駐車場の利用状況は、全体的には向上しているものの、時間貸利用における平成22年度実績は低下している。当駐車場を取り巻く近年の駐車場環境の変化に対応し、時間貸利用の増加を図るためには、様々な料金設定によるシミュレーションを行うとともに、商店街や利用企業との提携による利用者の誘引策としてポイント制の導入などを取り入れるなど、繰り返し選択される駐車場を目指すこと。【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成25年1月11日 時間貸利用の増加を図ることはディア四日市の収益に大きく寄与するので、監査結果の意見を踏まえ今後も継続して努力していく。</p>
<p>(4) 役員構成等の見直しについて 推薦団体内での充て職により選任された役員(取締役、監査役)が、その地位、役職を離れた以降も役員として活動することは、法人の経営方針や事業計画、予算決算等の重要事項を審議・承認し、日常の経営活動を統治・監視する機関である取締役会のガバナンス機能を著しく弱めることになりかねない。経営を執行する管理者はじめ社員の適切な活動により、事業が改善・改革が図られているか厳しく指導・監視できるよう、取締役会等の構成と役員の選任方法について改善を行うこと。【改善事項】</p>	<p>【 措置済 】 平成24年6月29日 充て職により選任された役員は、その職を離れた時点で速やかに辞表を提出している。</p>
<p>【商業勤労課】</p>	
<p>(1) 当法人の経営に対する指導監督について 当駐車場の利用者数については、来街者数に左右されることが明白である。現在、本市が策定中の中心市街地活性化基本計画に具体的に位置づけ、増収による経営の安定化を促すとともに、街づくり会社として発足させた当法人の果たす役割について明確にし、駐車場管理以外の事業について取り組めるよう、適時適切な指導監督を実施すること。【改善事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成25年1月11日 現在検討中の中心市街地活性化基本計画において、来街者の増加につながる施策を検討している。また、駐車場管理以外の事業については、(株)ディア四日市と実現可能性に向けた協議を進める。</p>
<p>(2) 国道1号線地下駐車場について 現在、国道1号線部分については、財団法人駐車場整備推進機構から委託を受け、中央通り部分と一体的に管理運営しているが、同機構は近々解散が予定されており、今後の新たな団体からの受託に向け、受託時の条件がより優位となるよう経営のあり方の抜本的改善への指導を行うこと。【要望事項】</p>	<p>【 継続努力 】 平成25年1月11日 国道1号線の地下駐車場の管理運営業務のうち所要の業務を(株)ディア四日市が受託してきた経緯と実態を踏まえ、新たに管理運営を担う事業者が別途(株)ディア四日市と委託内容の協議を行うこととなっていることから、引き続き、(株)ディア四日市と連携を図りながら、条件が不利とならないよう協議を進める。</p>